

特定非営利活動法人
新潟国際ボランティアセンター



2014年度通常総会議案書

日時： 2014年5月24日(土)13:00～14:30

会場： 新潟市市民活動支援センター

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター
新潟市中央区営所通2番町692-27 ビラプリンス103
U R L : <http://www.nvcjapan.org/>
E - mail: info@nvcjapan.org

2014年度 特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター
通常総会

- 次 第 -

- 1 開会
- 2 議長・議事録署名人・書記の選出
- 3 総会成立の確認
- 4 議案審議
 - 第1号議案 2013年度事業報告について
 - 第2号議案 2013年度収支決算・監査報告について
 - 第3号議案 2014年度事業計画について
 - 第4号議案 2014年度活動予算について
 - 第5号議案 役員の選任について
- 5 閉会

14:30～15:00 2013年度第2回運営委員会

15:00～17:00 NVC第79回地球を知る講座
「グローバル化が人々の暮らしに与える影響
～TPPから考えよう～」
講師:日本国際ボランティアセンター 理事 天明伸浩 氏

18:00～ 懇親会

歳をとるとは。

新潟国際ボランティアセンター
代表運営委員 金子洋二

1990年に発足したNVCは、いよいよ25年目の活動を迎えました。

当時22歳の私も、気がつけば今年47歳・・・(!)びっくりです。

歳をとるとやはり、色んなところにガタがきます。腰も壊したし、怪我をすると治りにくいし、最近ではとうとう目がしょぼしょぼしてきました。

NGOも人と似ていて、長く続けていると様々な困難に見舞われます。確かに、NVCではこれまで色々大変な事がありましたし、一時は内部から「もう解散した方がいい」という言葉が聞こえるほど弱っていた時期もありました。でもその都度、力を合わせ、知恵を出し合って次の活動を切り開いてきました。組織の平均寿命は30年程度と言われていいますから、NVCはもうかなりの長寿団体と言ってもよいでしょう。本当に素晴らしいことだと思います。

組織を維持するのは、ヒトの体で例えるなら「新陳代謝」です。新しい試みと新しい担い手が躍動することで、社会に新しい価値を創り出します。ご存知の通り、今、NVCは多くの新しい試みに挑戦していますし、たくさんの若いスタッフが活躍しています。また、3月には待望の新しい拠点を新潟市内に確保することができました。重要なのは、それらの「新しいもの」をつなぐ根幹に、私たちがずっと大切にしてきた「世界と直につながり、共に育ち合う」という理念があることです。このDNAは揺るがずに、今もNVCを瑞々しく保ってくれています。

歳を重ねるとは、苦しいことでもありますし、また楽しいことでもあります。この2つが折り重なっているからこそ、感動的なことでもあるのでしょう。今年もまたこの感動を多くの方たちと分かち合いたいと思っています。

引き続き、NVCへのご参画をよろしくお願い致します。



2013年度スタディツアーにて、奨学金事業の奨学生と交流

2013年度事業報告

1 ラオス支援事業

(1) 事業の概要

ラオスの小規模農家が食料と自然資源を安定的・持続的に確保し、人々が平等に自然、農業、社会、開発からの「利」(現金収入、機会、技術)を享受することができるような社会を実現するために、サワナケート県のピン郡ならびにアサボン郡の農村部において、村人が将来に渡り森を利用する権利を持ち続けられ、村人が農業の改善を通して安定した暮らしを送れることを目指している。その手段として、

- A 参加型土地利用計画
 - B 土地・森林に関する意識啓発 (演劇・人形劇の実施)
 - C 自然資源管理、
 - D 稲作技術改善
 - F 米銀行、
 - G 家畜銀行、
 - H ラタン栽培
 - I 安全な水供給
- といった活動を実施した。

(2) 実施期間 2013年4月1日～2014年3月31日

(3) 実施場所 ラオス・サワナケート県2郡(アサボン郡、ピン郡)

(4) 担当者 JVC ラオス事務所 12名 / 東京事務所 1名 NVC ラオス事業担当 稲垣・羽田

(5) 受益者の範囲 約23村 18,00世帯 11,000人

(6) 支出額 100,000円(当会からの協力金として)

2 ベトナム奨学金事業

(1) 事業の概要

本事業は、NVC および他の団体・個人の資金拠出による計3件の奨学金について一括してNVCが窓口となり、各奨学金の趣旨に従って、ホーチミン市学生支援センター(SAC)の協力により、経済的困窮度の高い大学生に対して1人年額1万円を支給するものである。2013年度の支給人数は別表のとおりである。

2013年度より、以前NVC奨学金を受給して大学を卒業し現在ホーチミン市内の日系企業に勤めているRoiさんが、1万円を拠出してくださることになり、NVC奨学金と一括して支給した。

なお、卒業年度までの支給は2011年度の新規分までとし、2012年度の新規分からは入学後2年間のみの支給に変更することが、2011年9月にNVC代表とSACとの協議で決定している。

(2) 実施日または期間 通年

(4) 実施場所 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(5) 担当者及びスタッフの数 NVC 担当者：櫛谷圭司 現地スタッフ：Thu Linh

(6) 受益対象者の範囲及び人数 ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 72人

(7) 支出予算額 720,000円(奨学金特別会計より)

【別表】

	継続分	新規(1年生)	計
奨学金/河合・志田奨学金	35	21	56
Roiさん拠出	-	1	1
大学女性協会新潟支部奨学金	4	1	5
稲宮奨学金	9	1	10
合計	48	24	72

3 ベトナム障がい児支援事業

(1) 事業の概要

本事業はキークワン寺及びマダグイ子どもセンターで生活する盲目、肢体不自由、知的障がいなどの障がいを持つ子どもや青年を支援することにより、それぞれの施設の自立を助け、ベトナム社会への発展に寄与することを目的としている。

2013年度は2012年度からの継続事業として、キークワン寺へは生活必需品の支援を行った。また、マダグイ子どもセンターへは屋根の修理費用を支援した。2013年8月に再開したスタディツアーにてキークワン寺およびマダグイ子どもセンターを訪問した。これまでマダグイ子どもセンターへは運営委員しか訪問していなかったため、ツアーでの訪問は初めてであった。最初は緊張していた子ども達も徐々に打ち解けツアー参加者と和やかに楽しい交流を行うことができた。また、2012年に支援したパンを視察したり、既に修理が完了していた屋根も確認することができた。

(2) 実施日または期間

キークワン寺センター1：2013年4月～2014年3月

マダグイ子供センター：2013年4月～2014年3月

(3) 実施場所

ベトナムホーチミン市キークワン寺センター1

ベトナムラムドン省マダグイ子供センター

(4) 担当者 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

キークワン寺：約120名

マダグイ子供センター：45名(半数が障がい児)

(6) 支出額 500,000円

内訳

キークワン寺：170,000円 フロア洗剤、洗濯洗剤、歯ブラシなどの生活用雑貨、肉入りヌードルなどのSpecial Foodなど、要望に応じて物資の支援を行った

マダグイ子供センター：330,000円 食堂の屋根の修理及び生活必需品の支援を行った。

4 ベトナム交流事業

(1) 事業の概要

新潟大学ベトナムプロジェクトでは、ベトナム・ホーチミン市にある女子専用孤児院マイ・アム・バー・チュウ(MABC)を訪問し、私たち日本人との国際交流を通して、子どもたちへ精神的な支援を行うことを目的に活動を行っている。また参加する学生も、子どもたちとの交流を通して、「学生だからこそ」「ベトナムだからこそ」出来る貴重な経験を得られる。これまで2006～2013年に亘って8回現地に渡航している。

(2) 実施日 2014年2月22日(土)、23日(日)

(3) 実施場所 1日目 マイ・アム・バー・チュウ(MABC)内

11:00-12:00 カレーライス、白玉作り

12:30-15:00 子どもたちと遊ぶ(折り紙、シャボン玉 etc...)

2日目 ホーチミン市内にあるダムセン公園

9:00-14:00 プールで遊ぶ

(5) 担当者及びスタッフ数

参加者：新潟大学ベトナムプロジェクトメンバー18名(内1名ベトナム人留学生)

【1年】石井里穂、今井まどか、笠原彩可、中野友梨奈、高橋倫佳、廣澤春陽、和田悠哉

【2年】大山和奈、菊地雛、小山瑞季、齋藤愛美、鈴木絵理、遠山莉佳子、松沢春菜、諸橋まどか

【3年】Nguyen Son 【4年】石崎桂子、黒澤彩

(6) 現地参加者 約25名(マイ・アム・バー・チュウ(MABC)の子どもたちや元利用者など)

(7) 支出額

旅費は自己負担、必要経費は新大祭、医歯学祭で春巻きや物品の収益でまかなった。

5 愛のかけ橋バザー

(1) 事業の概要

第25回NVC愛のかけ橋バザー&フェスタを開催することにより、新潟県内における国際協力の裾野を広げるとともに、各事業資金を調達することを目的として開催した。また、第25回記念を迎えることにより、よりインパクトがあり、なおかつ来場者が楽しめるようなイベントを意識し、ステージパフォーマンスの実施やフォー(ベトナムうどん)や挙げ春巻き、コーヒー等の飲食販売を行った。

(2) バザー収益および来場者数

総収益額：521,275円(売上：417,566円、寄付：91,000円、募金：12,709円)

来場者数：延べ1340人

(3) 実施日 2013年10月5日および10月6日の2日間

(4) 会場 ピア万代 にぎわいマルシェ

(5) スタッフ 担当：高山美結、三上杏里 ボランティア延人数：110人

(6) 支出額 161,742円

6 国際協力啓発事業（地球を知る講座）

（1）事業の概要

新潟県在住の若者を含む広い年代に、国際問題・貧困問題・社会問題などの地球規模の課題/グローバルイシューを発信し、新潟県内における国際問題理解・啓発を行うことにより、新潟という地域と世界とがつながり、共に生きることのできる社会作りを目指し、地域社会における国際理解、人材育成、コミュニティ作りに寄与する。

また、国際協力を「富めるものから貧しいものへ」支援するという視点ではなく、新潟と世界が学び合い育ちあうことのできるような環境作りを目指す。

（2）実施日または期間

専門家を招いてのセミナー、ワークショップ、映画上映会

- ・2013年5月18日 講演会及びワークショップ（半径3mからの国際協力）
 - ・2013年7月29日 映画上映会及びワークショップ（限られた資源の今後の行方）
 - ・2013年10月6日 ワークショップ（コーヒーを飲んで世界を知ろう）
 - ・2013年11月23日 講演会及びワークショップ（開発と環境保全は共存できるのか）
 - ・2014年2月15日 講演会及びワークショップ（世界の現状は今、どうなっているのか!?!）
 - ・2014年3月8日 講演会及びワークショップ（国際協力、NGO、ボランティア入門）
- セミナー・ワークショップ報告レポート作成：レポート6部作成。

隔月での広報・勉強会：6回実施

（3）実施場所

新潟市市民活動支援センター、ピア万代、新潟大学駅南キャンパスときめいと、東区プラザ、新潟県立大学

（4）担当者及びスタッフの数

担当スタッフ：羽田 達矢、高山 美結、小出 直美

ボランティアスタッフ：松栄 容佳、根立 龍斗

（5）受益対象者の範囲及び人数

参加者 計103人（日本人101人、外国人3人）うち 主催者 20人

（6）支出額

【支出実績】経費総額：199,599円（助成対象経費：171,947円 助成対象外経費：27,652円）

【収入実績】収入総額：200,000円（国際化推進活動助成金：137,000円 自己資金：63,000円）

7 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

（1）事業の概要

新潟県内の大学や専門学校に在学し、新潟市に在住している「留学」の資格を持つ、一定以上の収入のない私費留学生に対し、1人につき年間5千円ずつの国民健康保険料の助成を行う事業。

1年以上滞在する外国人は公的健康保険に加入しなくてはならず、多くの場合が国民健康保険に加入することになるが、経済的な負担となっているケースもある。そのため、経費の一部を助成することで、安心して医療を受けてもらおうという趣旨で、平成7年度から（公財）新潟市国際交流協会との協働事業として実施。（2010年度助成までは、支払済額の半額

を助成していたもの。)

平成 25 年度は、(財)自治体国際化協会と協働開催したセミナーにて、助成を受けている留学生より助成を受けた感想を公表してもらうことができ、当事業が新潟市在住の留学生にとって重要な学業支援及び生活支援につながっていると確認できた。

(2) 実施期間 通年(保険料の助成金支払いは年度終了後)

(3) 実施場所 新潟市内

(4) 担当者 三上 杏里

(5) 受益対象者の範囲及び人数:

助成件数: 169 件

【参考】新潟市内の大学に通う私費留学生: 704 人(2013.11 月現在)

(6) 支出額 100,000 円

8 委託事業 平成 25 年度地域国際化ステップアップセミナー開催

(1) 事業の概要

(財)自治体国際化協会より依頼を受けて実施した委託事業。国際化の進展に伴い、地域社会も多様化しており、ニーズに応じたきめ細かい活動を実施するためには、多様な担い手の連携が不可欠となっていることを受け、これまでの新潟および全国における取り組みを知るとともに、これからの連携・協働のあり方を考えていくセミナーを開催した。

(2) 実施日または期間 2014 年 2 月 1 日(土) 13:30~17:30

(3) 実施場所 新潟国際情報大学中央キャンパス 9 階講堂

(4) 担当者及びスタッフの数 三上杏里、高山美結、ボランティアスタッフ 2 名

(5) 受益対象者の範囲及び人数 セミナー参加者 48 名

(6) 支出額 支出合計 104,475 円 事業委託費 200,000 円

9 その他の運営に関する事項

(1) 機関紙発行 「かけ橋」41 号(2012 年 8 月 1 日)42 号(2012 年 12 月 25 日)

(2) 運営委員会 毎月第 3 土曜日、新潟市市民活動支援センターにて開催

(3) 外部イベントへの出展

万代アースフェスタ 2013 年 5 月 3~5 日 万代シティ

新潟国際交流フェスティバル 2013 年 9 月 7 日~8 日 万代シティパーク

カミフル門前市 2013 年 11 月 2 日 上古町

(4) 現地調査

ベトナム障がい児支援事業

・2013 年 8 月 24~29 日、事業担当者である小林運営委員が支援先のキークワン寺及びマダグイこどもセンターを訪問し、現地調査を行った。これは、スタディツアーの訪問コースでもあったため、多くの方に NVC の支援の現場を知ってもらうこととなった。

ベトナム奨学金事業

2014 年 1 月 12 日にベトナム・ホーチミン市学生支援センター(SAC)の主催による N

VC奨学金の授与式が市中心部のホールで開催され、事業担当者である櫛谷副代表兼運営委員が参加し、新入生に対し証書の授与及びSAC及び学生達と意見交換を行った。

2014年2月9日～2月12日、小林運営委員が小学校建設事業及びフェアトレード事業候補地の視察を行った。結果は、2014年度活動計画を参照。

(上記3調査における支出額 150,000円)

(5) 2013年度 役員体制

(五十音順)

運営委員	金子 洋二(代表) 三上 杏里(事務局長、副代表) 加藤 健太(副代表) 櫛谷 圭司(副代表) 稲垣伴憲、北村 泰、小出直未、小林伸子、佐々木寛、袖山由美子、高橋正樹、高山美結、武田彩美、羽田達矢、前谷明日香、皆川真理恵、山賀緩子、若月 章、渡邊恭平
監事	阿部美恵子、原 敏明
アドバイザー	面川雅博、篠田 昭、西村智奈美、前野春樹、山際 敦、山田太郎

(6) マスコミ掲載

2013年9月26日 新潟日報 第25回愛のかけ橋バザー&フェスタのお知らせ掲載

2013年10月4日 朝日新聞 //

2013年10月10日 新潟日報 第25回愛のかけ橋バザー&フェスタの報告掲載

2014年1月19日 市報新潟 地域国際化ステップアップセミナーのお知らせ掲載

(7) その他

カレンダーの販売部数・・・1500円×100部

奨学金寄付者・・・大学女性協会新潟支部 50,000円 Ms.Roi 10,000円

加入している団体

日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟NPO協会、にいがたNGOネットワーク、

助成金 新潟県国際化推進活動助成金(地球を知る講座)

収入

項目	2013予算額	2013決算額	差異	備考
前年度からの繰越金	2,815,541	2,815,541	0	
会費	844,000	842,000	2,000	
会費(個人)	600,000	444,000	156,000	12000円×37名
会費(学生)	20,000	1,000	19,000	1000円×1名
会費(家族)	60,000	80,000	20,000	20000円×4家族
会費(団体)	56,000	43,000	13,000	20000円×2団体、学3000×1団体
会費(賛助)	60,000	39,000	21,000	3000円×13口
会費(過年度)	48,000	167,000	119,000	
会費(翌年度)	0	68,000	68,000	
事業	1,075,000	643,356	431,644	
バザー売り上げ	800,000	417,566	382,434	
イベント売り上げ	100,000	45,950	54,050	
書籍・カレンダー売り上げ	150,000	168,340	18,340	
地球を知る講座参加費等	25,000	11,500	13,500	
寄付金	300,000	295,900	4,100	
募金	10,000	16,150	6,150	
助成金	137,000	254,000	117,000	24年度分、25年度分
委託事業収入	0	200,000	200,000	
利息諸収入	1,500	201	1,299	
計	5,183,041	5,067,148	115,893	

支出(事業費)

項目	2013予算額	2013決算額	差異	備考
自主事業(海外)	750,000	753,140	3,140	
ベトナム障がい児支援事業	500,000	500,000	0	キークワン・マダグイ支援
現地代表手当	50,000	50,000	0	リン会員
現地調査費	200,000	200,000	0	櫛谷・小林会員
スタディツアー	0	3,140	3,140	
自主事業(国内)	434,000	508,991	74,991	
バザー	100,000	161,742	61,742	飲食レンタル代金等
書籍・カレンダー	134,000	147,650	13,650	壁掛け・卓上カレンダー
地球を知る講座	200,000	199,599	401	教材購入・講師接待費
他との協働事業	200,000	304,475	104,475	
ラオス(JVC)	100,000	100,000	0	JVCへ
留学生健康保険(新潟市)	100,000	100,000	0	新潟市国際交流協会へ
クレアセミナー	0	104,475	104,475	
事業実施諸費	30,000	70,554	40,554	エコバッグ買い付け、送金手数料等
他団体登録費	30,000	31,630	1,630	JVC、NPO協会等
緊急支援	0	50,000	50,000	洪水支援
計	1,444,000	1,718,790	274,790	

支出(事務局費)

項目	2013予算額	2013決算額	差異	備考
印刷	20,000	30,600	10,600	
通信費	50,000	43,076	6,924	電話・メール便等
文具	10,000	19,120	9,120	インク等
事務所費	10,000	155,270	145,270	事務所契約費
予備費	600,000	6,200	593,800	慶弔費等
計	690,000	254,266	435,734	

支出(計)

項目	2013予算額	2013決算額	差異	備考
事業費	1,444,000	1,718,790	274,790	
事務局費	690,000	254,266	435,734	
計	2,134,000	1,973,056	160,944	

収入 - 支出(翌年度への繰越額)

3,049,041

3,094,092

2013年度 奨学金特別会計収支計算書

2014.3.31

収入

項 目	2013年予算額	2013年決算額	差異
前年度からの繰越金	2,806	2,806	0
基金拠出金(内訳下記参照)	700,000	670,000	30,000
受託金(連合奨学金)	0	0	0
奨学金(大学女性協会)	40,000	50,000	10,000
ドル換金差額	0	0	0
利息諸収入(利息)	0	911	911
利息諸収入(ドル換金差額)	0	0	0
計	742,806	723,717	19,089

支出

項 目	2013年予算額	2013年決算額	差異
基金拠出分(内訳下記参照)	700,000	670,000	30,000
奨学金(連合)	0	0	0
奨学金(大学女性協会)	40,000	50,000	10,000
連合10周年記念調査報告費	0	0	0
予備費(ドル送金手数料)	0	1,260	1,260
計	740,000	721,260	18,740

収入 - 支出(翌年度への繰越金) 2,806 2,457 349

NVC奨学金基金の状況

項 目	2013年度当初額	拠出金	2013年度末額
NVC奨学基金	3,255,659	570,000	2,685,659
稲宮奨学基金	260,000	100,000	160,000
計	3,515,659	670,000	2,845,659

2013年度会計 貸借対照表

平成26年3月31日現在

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産			
現金	58,356		
普通預金(ゆうちょ銀行)	2,371,717		
定期預金(第四銀行 本店)	3,207,826		
振替口座(ゆうちょ銀行)	95,000		
流動資産合計		5,732,899	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,732,899
負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			5,732,899

2013年度会計 財産目録

平成26年3月31日現在

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産			
現金	58,356		
普通預金(ゆうちょ銀行)	2,371,717		
定期預金(第四銀行 本店)	3,207,826		
振替口座(ゆうちょ銀行)	95,000		
流動資産合計		5,732,899	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,732,899
負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			5,732,899

会計監査報告

2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)の収支決算
について、帳簿、預金通帳、その他関係書類を監査した結果、
すべて相違なく適正に処理されていると認めます。

2014年4月19日

監査委員

原 祐樹 

会計監査ヒアリング報告

2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)の収支決算
について、帳簿、預金通帳、その他関係書類を監査した結果、
すべて相違なく適正に処理されていると認めます。

2014年4月22日

監査委員

阿部 美恵子 

【原監事及び阿部監事からのアドバイス（要旨）】

原監事（4月19日監査時）

- ・今後、ベトナムのコミュニティ支援なども意識していったらどうか。新潟とベトナムの地方がつながることを視野に入れて活動して欲しい。
- ・中古の重機を寄付するという事業なども検討してもらいたい。現地でその重機のリース事業を展開し、現地スタッフの経費や拠点確保を目指して資金調達をしていく、など多方面から実現可能性を考え、事業の拡大を目指して欲しい。
- ・新規に奨学金提供者となってくれた方には、年2回以上の報告を入れることが重要。より、事業とのつながりを持っていける方法を提供して欲しい。
- ・緊急支援を行った際には、「〇〇人に支援した」などの具体的な記録が欲しい。

阿部監事（4月22日監査終了後のヒアリング時）

- ・学生がたくさん集まって来てくれているという流れを感じる。ぜひ、多くの学生さんに会員になっていただき、会の運営についても関心を持ってもらうように働きかけて欲しい。
- ・エコバックの開発に対して、内ポケットなど機能性をより意識して進めてもらいたい。持ち手の長さが調整できるとより様々な人に使ってもらえると思う。
- ・メコンデルタの人達にフェアトレード商品を生産してもらう際には、カゴなどの現地で採れる原材料を使うと良い。検討してもらいたい。
- ・事務所を設けることができ良かったと思っている。今後店舗としてオープンする際には、バザーの余剰商品なども販売して欲しい。バザーに参加できなかったとしても、常日頃 NVC のことを意識している人は多くいる。

2014年度事業計画（案）

2014年度事業実施の方針および中期ビジョンの進捗状況の確認

事務局より

ちょうど一年前、NVCがより一層飛躍していくことを目指して中期ビジョンを策定しました。「日々変化する次代に合せて組織を変化させていかななくては」という気持ちと「今まで培ってきた大切なことは守らなくては」という思いを交差させながらビジョンチームで議論を重ね、3つの方針を策定しました。

中期ビジョン3つの方針

1. 世界の現状をより深く知るとともに、それを国内に広く発信することを目指して、学ぶ機会を拡大します
2. 既存事業の内容を確認するとともに、新規事業について検討し、将来を見据えた事業体系に整備します
3. 会員、支援者、及びコアスタッフの体制を整え、組織の基盤を強化します

この中期ビジョンというのは中長期的視野を持ちそれに向けて行動していく、というNVCの新しいチャレンジでもありました。そしてこの方針の元、1年間できることを取り組んできました。目標に達した項目と達しなかった項目とがあります。

しかし、確実に言えることはNVCのすべての事業で進歩が見られた、ということです。支援先国ベトナムでは新しく着手し始めたフェアトレード事業において3つの提携先候補とつながりを持つことができました。また、数年ぶりに学校建設事業も始まりました。

もちろん、国内活動も一層充実してきています。地球を知る講座事業に参加した人は、日常のボランティアスタッフとして再度集まってくれています。国民健康保険料の助成事業に関しては、初めて助成を受けた留学生さんとのつながりを持つこともできました。昨年再会したスタディツアーは、参加者としてNVCに関わってくれた人が、なんと今年度はスタディツアー運営スタッフとして企画や運営を担ってくれております。

こういった進歩が見られたのも、25年近くになるNVCの歴史と、奨学金事業や障がい児支援事業、そして愛のかけ橋バザー&フェスタなどを堅実にやってきたからだ、改めて思います。

確実にNVCは再度成長しているという波を感じております。そこで、今年度は中期ビジョンを達成すべく

人が集まってくれている時に、

人が集まりやすい環境を整え、

来てくれた人にもう一度「参加したい」と思ってもらい、

新潟とベトナムをつなぐ

一年にしたいと思っております。新事務所を構え、事務局体制を磐石なものにし、NVCのより一層の飛躍と発展を目指して今年一年も頑張ります。

2013 年度末中期ビジョン達成状況確認リスト

2014年4月30日

活動拠点の確保		評価:○
現状	2014年4月1日より新拠点入居開始	
評価マークを受けてこれからすべきこと	4月より新事務所の利用開始、5月24日に正式オープン、平日はできるだけスタッフが常駐する予定、夏～秋にフェアトレードショップを開設予定	
新潟県内の大学サークル、ゼミなどを中心に学生ボランティア参加呼びかけ開始。その後継続		評価:○
現状	県立大学のNicolveを中心に学生の参加が拡大。高校生の参加もあり、今後も参加したい旨の連絡をもらっている。	
評価マークを受けてこれからすべきこと	今後も継続して各大学及び小中高に向けて活動紹介に行く。また、そのためのスタッフ人材育成も行う。	
開催25回目を記念した「愛のかけ橋バザー & フェスタ」開催		評価:○
現状	資金調達が目標額に達しなかった。その反省を受けて、今年の行動計画の大幅な変更を予定。	
評価マークを受けてこれからすべきこと	昨年度は一般個人に向けた広報活動に力を入れたが限界があったので、今年度は個人だけでなく企業など組織への働きかけに力を入れる。また、飲食販売であるフォーの販売に関してこれから検討を重ね、外部イベントにも活かせる仕組みを構築する。	
事務局、各事業担当共に必要経費の確認及び支払い方針の確定		評価:○
現状	支払い規約の作成完了。2014年度より導入予定	
評価マークを受けてこれからすべきこと	総会における承認を経て交通費支払いを開始。今後は交通費以外の経費の洗い出しを開始する。	
認定NPO法人化に向けた準備開始		評価:×
現状	未着手	
評価マークを受けてこれからすべきこと	申請のための課題を明確化し、実現までのロードマップを示す。	
会員拡大に向けて行動開始		評価:○
現状	賛助会員制度導入。その他2014年度に向けて会員拡大計画の立案	
評価マークを受けてこれからすべきこと	具体的な会員拡大キャンペーンのアクションプランを提示、より仲間を増やすという今後の方針を行動に移す。	
スタディツアー再開		評価:○
現状	8月に実施。参加者が2014年度運営委員に参加してくれるようになり、人の参加のつながりを達成。	
評価マークを受けてこれからすべきこと	スタディーツアー担当者を中心としたプロジェクトチームを活性化させ、継続的な実施を担保するとともに、他のベトナム事業との連携を図り、NVCと現地を結ぶ実質的なパイプとして機能させる。	
フェアトレード事業開始に向けて調査実施		評価:○
現状	4つの提携先候補を探すことができた。また、MABCのエコバッグにおいては、商品開発に向けて進んでいる。	
評価マークを受けてこれからすべきこと	現在の進捗状況を確認し、生産ラインの確保及び販路の開拓に向けて準備する。	

2014 年度中期ビジョン行程予定

- ・専従スタッフ配置の検討
- ・企業や労働組合などの団体や NPO/NGO に対するアプローチの検討
- ・フェアトレード事業開始に向けて準備
- ・25 周年記念講演実施（2015 年開催に向けて準備）

【各事業の実施計画】

1 ラオス支援事業

(1) 事業の概要

2013年度に引き続き、ラオスの小規模農家が食料と自然資源を安定的・持続的に確保し、人々が平等に自然、農業、社会、開発からの「利」(現金収入、機会、技術)を享受することができるような社会を実現するために、サワナケート県のピン郡ならびにアサボン郡の農村部において、人が将来に渡り森を利用する権利を持ち続けられ、村人が農業の改善を通して安定した暮らしを送れることを目指す。その手段として、

- A 参加型土地利用計画
- B 土地・森林に関する意識啓発 (演劇・人形劇の実施)
- C 自然資源管理、
- D 稲作技術改善
- F 米銀行、
- G 家畜銀行、
- H ラタン栽培
- I 安全な水供給

といった活動を予定している。その中でも、「村人が土地・森林に関して持つ権利の理解促進」と「自然資源管理の自立発展性の強化」を重点項目として、IEC(Information, Education, and Communicationの略。)ツールや各種研修を充実させていくこと及び、「米銀行や井戸の持続可能な(自律的な)運営管理」について、住民組織の自律的な運営を可能にしていくためのシステムの見直しや研修の充実を目指す。

(2) 実施期間 2014年4月1日～2015年3月31日

(3) 実施場所 ラオス・サワナケート県2郡(アサボン郡、ピン郡)

(4) 受益者の範囲 約23村1800世帯11,000人

(5) 担当者 JVCラオス事務所12名/東京事務所1名 NVCラオス事業担当 稲垣・羽田

(6) 予算額 100,000円

2 ベトナム奨学金事業

(1) 事業の概要

NVCおよび他の団体・個人の資金拠出による計3件の奨学金について、一括してNVCが窓口となり、各奨学金の趣旨に従って、ホーチミン市学生支援センター(SAC)の協力により、経済的困窮度の高い大学生に対して1人年額1万円を支給する事業である。2011年度までは受給学生が卒業するまで支給を継続していたが、2012年度の新規分から支給を入学後2年間とする一方、新規の支給者数を増やしている。そのため2014年度は、前の制度による3年生以上が残っているため、総額が多くなっている。この状況は今後、前制度による支給者が順次卒業していくため、徐々に解消する見込みである。2014年度の支給予定人数の内訳は別表のとおり(ただし、稲宮奨学金の新規分の人数が未定のため、これより総数が若干増える可能性がある)。

- (3) 実施日 / 期間 通年
 (4) 実施場所 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市
 (5) 担当者およびスタッフの数

NVC 担当者：櫛谷圭司、松栄容佳 現地スタッフ：Thu Linh

- (6) 受益対象者の範囲及び人数：ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 62人
 (7) 支出予算額 620,000 円 (奨学金特別会計より)

【別表】

	継続 (3年生以上)	継続 (2年生)	新規 (1年生)	計
NVC 奨学金/河合・志田奨学金	7	21	20	48
Roiさん拠出		1	1	2
大学女性協会新潟支部奨学金	2	1	2	5
稲宮奨学金	4	1	2	7
合計	13	24	25	62

3 ベトナム障がい児支援事業

(1) 事業の概要

今年度はキークワン寺センター1 への支援とマダグイ子どもセンターへの支援を継続して行う。

- (2) 実施期間 2014年4月～2015年3月

(3) 実施場所

ベトナムホーチミン市キークワン寺センター1 及びベトナムラムドン省マダグイ子どもセンター

- (4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

キークワン寺センター1 及びマダグイ子供センターで生活する障がいを持つ子供・青年

- (6) 予算額 600,000 円

4 ベトナム小学校建設事業

(1) 事業の概要

長岡市のトキっ子くらぶ代表今井氏からベトナムに小学校を建設したいという申し出を受け再開した小学校建設プロジェクト。ベトナムの貧しい地域で学ぶ子どもたちの教育環境を整え、ベトナムの未来を担う子どもたちを支援することが目的である。

2013年8月、今井氏がNVC スタディツアーに参加され、現地でリンさんと支援が必要としている地域について話し合いを行った。帰国後、現地の情報を集め、2014年2月に小林と今井氏で現地調査のため渡越し、支援を希望していた2箇所の地域、ドンタップ省およびベンチェ省を訪問した。現地の状況からより支援を必要としていると判断したベンチェ省ピンカンドン小学校への支援を決定した。

また、日本郵政グループ労働組合からも支援をいただくこととなり、本プロジェクトは

トキっ子くらぶと日本郵政グループ労働組合、2 組織のスポンサーから資金をいただく形で進められる。

【建設の概要】ビンカンドン村小学校には現在 4 教室があるがそのうちの 1 教室の老朽化が激しい。
この老朽化した教室を取り壊し、その土地と隣の土地に新教室 2 部屋を建設する。

(2) 実施日または期間

2014 年 4 月 1 日 ~ 2015 年 3 月 31 日

(ベトナムとの契約期間は 2014 年 4 月 1 日 ~ 2014 年 9 月 30 日の半年間とする)

今後の予定 4 月 アグリーメントの締結および資金の送金

5 月 建設開始、建設にかかる期間はおよそ 3 ヶ月

9 月 スタディツアーにて開校式に参加 (日程は要調整)

(3) 実施場所 : ベトナム ベンチェ省 ビンカンドン村(ホーチミン市から車で約 2 時間の位置)

(4) 担当者 担当者 : 小林伸子 現地スタッフ : Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

現在の生徒数 125 名

(教室の老朽化・不足から、その他に生徒 100 名が川を渡った遠くの小学校に通っている)

(6) 支出額 1,000,000 円 支援内訳

トキっ子くらぶ : 500,000 円

日本郵政グループ労働組合 : 500,000 円

5 フェアトレード事業

(1) 事業の概要

ベトナムにおける貧困層及び生活困窮者が作成する製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指し、新潟において大量工業製品ではない真心のこもった良質な商品を手にすることができる仕組みを作ることを目的とする。

(2) 実施日 / 期間 通年

(3) 実施場所

ベトナム社会主義共和国ホーチミン市女兒専用孤児院マイ・アム・バー・チュウ (MABC) : オリジナルのエコバックの作成

Ling Tanh 省 KimChi シェルター : 木工クラフト品と縫製品

Kontam 地方のキークワン寺センター (センター利用者及び付近在住の少数民族) : お香、籐細工品

Dong Tap 省の女性グループに参加している女性たちの各家庭 : 縫製品

新潟市中央区営所通の事務所兼店舗内

(4) 担当者およびスタッフの数

三上杏里、小林伸子、高山美結、その他フェアトレード事業ボランティアチーム

(5) 受益対象者の範囲及び人数

マイ・アム・バー・チュウ (MABC) : 施設利用の女兒 25 名前後

KimChi シェルター : シェルター利用者 200 名

Kontum 地方のキークワン寺センター：確認中（センター利用者及び付近に在住する少数民族の人々が対象となる）

Dong Tap 省の女性グループに参加している女性たちの各家庭：現在 3 名。今後 10 名ほどにしたいとの希望を聞いている。

(6) 支出予算額：300,000 円

6 スタディツアー事業

(1) 事業の概要

ツアーを通してベトナムの現状や NVC プロジェクトの内容、現場、文化、歴史を知り、NVC の活動や援助の必要性を知る。そして、一事業に携わる事で NVC 活動に対する当事者意識を育成する事を目的とする。2014 年度は、昨年同様に参加者を公募し、ツアーを行う。ツアーのスケジュールに関しては、昨年の流れを踏襲しつつ、必要に応じて小学校建設事業やフェアトレード事業の現地視察など新事業の内容なども入れる。

(2) 実施期間 2013 年 8 月 23 日から 8 月 28 日（案）

(3) 実施場所 ベトナム社会主義国ホーチミン市とその近郊

(4) スタッフ 加藤健太、遠藤俊太郎、馬場拓也、山口明日香

(5) 受益対象者の範囲及び人数 最少催行人員 10 名

(6) 予算額 10,000 円（広報チラシ作成費など。また、渡航費現地滞在費などは全て参加者の負担とする）

7 愛のかけ橋バザー&フェスタ

(1) 事業の概要

第 26 回 NVC 愛のかけ橋バザー&フェスタを開催することにより、各事業の資金を調達し、広く市民に NVC の活動について知ってもらう機会とする。チャリティーバザーによる物品販売を中心に、ベトナムのフェアトレード商品の販売も行う。また地球を知る講座を開催し、参加者と一緒に国際問題について考える。市民・会員が気軽に参加し、楽しめるイベントとして発信する。

(2) 実施日 2014 年 10 月 4 日および 10 月 5 日の 2 日間（予定）

(3) 実施場所 ピア万代 にぎわいマルシェ

(4) 担当者およびスタッフの数

担当者：三上杏里、高山美結 当日ボランティア人数：延べ 100 人

(5) 受益対象者の範囲及び人数 来場者数（延べ）：1500 人

(6) 支出予算額 100,000 円

8 国際協力啓発事業（地球を知る講座）

(1) 事業の概要

新潟県在住の人々に、国際社会が抱える課題を発信し、啓発を行うことにより、新潟と世界とが繋がり、共生できる社会作りを目指し、地域社会における人材育成、コミュニティ作りに

寄与する。様々な国際問題を知り・考えていく中で、国際協力を「富める者から貧しい者へ」支援するという視点ではなく、新潟と世界が互いに育ちあうことのできるような環境を作り、世界で活躍するための行動を後押しすることを目指す。

(2) 実施日/期間

- ・2014年5月 貧困と教育に関する講演会の実施
- ・2014年7月 世界で何が起きているのかを学ぶ講演会の実施
- ・2014年9月 身近なところから考える国際協力についてのワークショップ
- ・2014年11月元子ども兵による講演会
- ・2014年1月 ラオスの大型開発と貧困問題に関する講演会

(3) 実施場所：新潟市市民活動支援センター、ピア万代、新潟大学駅南キャンパスときめいと東区プラザ、新潟県立大学

(4) 担当者およびスタッフの数 羽田 達矢、高山 美結、根立 龍斗

(5) 受益対象者の範囲及び人数 200人

(6) 支出予算額 250,000円

9 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

(1) 事業の概要

例年通り、(公財)新潟市国際交流協会と協働で実施する予定。しかし、2011年度の震災などの影響で私費留学生数は前年比較でほぼ横ばい状態のため、2012年度の助成総額は100万円(⑤5000円×200件)を見込む。

また、今年度は昨年留学生と顔の見える関係になれたのを活かし、より彼らと密につながっていけるような体制を整えていく。

(2) 実施期間 通年(保険料の助成金支払いは年度終了後)

(3) 実施場所 新潟市内

(4) スタッフ 三上杏里

(5) 受益対象者の範囲及び人数 助成見込み件数：現在確認中

(6) 予算額 100,000円

9 その他運営に関する事項

(1) 「かけ橋」発行

(2) 運営委員会の開催

原則として毎月第3土曜日午前10時30分より、新潟市市民活動支援センターにて実施する

(3) 外部イベントへの出展

メーデー	2014年4月26日	新潟市陸上競技場
万代アースフェスタ	2014年5月3~5日	万代シティ
ありありフェスタ	2014年6月1日	万代シティパーク
くらしとTPPを考えるサマーフェスタ	2014年7月13日	長岡駅前・アオーレ長岡
World Scramble Day	2014年8月24日	万代シティパーク
国際交流フェスタ	2014年9月7日	万代シティパーク

(4) 現地調査

支援先の現況把握としてベトナムでの現地調査を実施する。

(5) 旅費・交通費支給規定の設置 24 ページ参照

(6) 資金調達

各事業においては助成金の獲得を視野に入れ、資金の確保を目指す。また、会費及び会員を増やすべく、会員拡大キャンペーンなどを展開して安定財源確保の対策に向けて取り組んでいく。そのために、通常の運営委員会に加えて、資金調達に向けて実施体制を話し合うミーティングを開催し、資金調達体制を整えていく。また、NVC に関心のある方が誰でも参加できるような「簡単にお手伝いできる資金調達」の方法を提案し、より多くの方に少しずつご協力いただけるような仕組みを構築する。

(6) その他

加入予定団体

日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟NPO協会、
にいがたNGOネットワーク

大学生によるマイ・アム・バー・チウ (MABC) のこどもたちとの交流

新潟大学学生サークルベトナムプロジェクトの方々が例年通りマイ・アム・バー・チウ (MABC) に訪問し、こどもたちと交流する予定である。詳細は以下の通り。

(1) 事業の概要

2013 年度に引き続き、学生を主体とした企画・運営により現地との交流を継続する。

(2) 実施期間 渡航日程等は未定。春休みの実施を予定。

(4) 実施場所 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市を予定

(5) 担当者およびスタッフ 新潟大学の学生 10 名程度

(6) 受益対象者の範囲 参加学生および現地の児童

新潟国際ボランティアセンター旅費・交通費支給規定

2014年3月15日作成

当法人の運営委員、会員、ボランティアスタッフが業務に参加する際に、5km以上の移動を伴った際に旅費・交通費を支給する。支給方法は以下の通りとする。

1、公共交通機関を利用する場合

日本国内において、自宅から業務に参加するまで電車、バス、フェリーの最低運賃の合計額を支給する。電車の運行距離が100kmを超えた場合は、特急料金の4分の1を支給する。支給限度額は往復で5千円とする。

2、自家用車を利用する場合

日本国内において、自宅から業務に参加するまでの最短走行距離数に1km(小数点以下は切り捨て)あたり10円を乗じた金額を支給する。有料道路を使用した場合は、その料金を支給する。有料駐車場利用料は支払い対象外とする。

3、支給対象となる活動

- ・事務局作業
- ・各事業に関わる業務
- ・広報、資金調達に関わる業務
- ・運営委員、監事、アドバイザーが運営委員会に出席する場合
- ・各事業担当者が各事業の業務に従事する場合
- ・各事業に参加するボランティアスタッフへの支給は、その事業担当者が必要と認めた場合とする
- ・愛のかけ橋バザー&フェスタ事業の当日ボランティアは対象外とする

4、支給申請時期

- ・当該活動終了後、翌月末までに各事業責任者の確認を終了した上で経理担当者へ申請する。申請時期が超過した場合は、支払い対象外とする

附則

この規定は、平成26年6月1日から適用する

燃料市場価格等の大幅な変動があった場合は、都度運営委員会で議論し、必要に応じて改訂する

第4号議案
2014年度 一般会計活動予算書(案)

収入

項目	2014予算額(案)	2013予算	2013決算	決算比較	備考
前年度からの繰越金	3,094,092	2,815,541	2,815,541	278,551	
会費収入	1,176,000	844,000	842,000	334,000	
会費(個人)	800,000	600,000	444,000	356,000	60人以上
会費(学生)	20,000	20,000	1,000	19,000	20人
会費(家族)	100,000	60,000	80,000	20,000	
会費(団体)	56,000	56,000	43,000	13,000	学生団体含む
会費(賛助)	100,000	60,000	39,000	61,000	
会費(過年度)	100,000	48,000	167,000	67,000	
会費(翌年度)	0	0	68,000	68,000	
事業収入	1,245,000	1,075,000	643,356	601,644	
バザー売り上げ	800,000	800,000	417,566	382,434	
フェアトレードグッズ売り上げ	200,000	100,000	0	200,000	昨年は、全てイベント売り上げで計上
イベント売り上げ	50,000	0	45,950		
書籍・カレンダー売り上げ	170,000	150,000	168,340	1,660	
地球を知る講座参加費等	25,000	25,000	11,500	13,500	
寄付金	300,000	300,000	295,900	4,100	
学校建設事業指定寄付	1,000,000	0	0	1,000,000	4月に受領済み
募金	30,000	10,000	16,150	13,850	
助成金	150,000	137,000	254,000	104,000	県国際交流協会
委託事業収入	0	0	200,000	200,000	
利息諸収入	800	1,500	201	599	ゆうちょ定期
計	6,995,892	5,183,041	5,067,148	1,928,744	

支出(事業費)

各事業費に家賃、光熱水費を按分して計上

項目	2014予算額(案)	2013予算	2013決算	決算比較	備考
自主事業(海外)	2,325,000	750,000	753,140	1,571,860	
奨学金支援事業(基金分除)	87,000	0	0	87,000	現地調査費として
ベトナム障がい児支援事業	687,000	500,000	500,000	187,000	現地調査費含む
現地代表手当	50,000	50,000	50,000	0	
フェアトレード事業	418,000	200,000	200,000	218,000	過年度は現地調査費の中で計上
スタディツアー事業	46,000	0	3,140	42,860	
小学校建設事業	1,037,000	0	0	1,037,000	
自主事業(国内)	579,000	434,000	508,991	70,009	
バザー	137,000	100,000	161,742	24,742	
カレンダー	192,000	134,000	147,650	44,350	100部購入+送料+振込手数料、他卓上も有
地球を知る講座	250,000	200,000	199,599	50,401	
他との協働事業	286,000	200,000	304,475	18,475	
ラオス(JVC)	138,000	100,000	100,000	38,000	
留学生健康保険(新潟市)	148,000	100,000	100,000	48,000	
委託事業費	0	0	104,475	104,475	
緊急支援	0	0	50,000	50,000	
他団体登録費、事業実施諸費	0	60,000	102,184	102,184	2014年度は各事業費に付加
計	3,190,000	1,444,000	1,718,790	1,573,394	

支出(事務局費)

項目	2014予算額(案)	2013予算	2013決算	決算比較	備考
印刷	40,000	20,000	30,600	9,400	
広報宣伝費	50,000	10,000	19,120	30,880	
通信費	80,000	50,000	43,076	36,924	インターネット、電話、かけ橋発送
他団体登録費	30,000	0	0	30,000	前年度は事業費に計上
事務所費(家賃、光熱水費、火災保険)	186,000	10,000	155,270	30,730	
交通費(運営委員会開催)	200,000	0	0	0	昨年度は事務所設置費を予備費として計上
予備費	20,000	600,000	6,200	13,800	
計	606,000	690,000	254,266	351,734	

2014年度 奨学金特別会計収支予算書

収入

項 目	2014予算額	2014現状	差異
前年度からの繰越金	-349	-349	0
基金拠出金(内訳下記参照)	550,000	0	550,000
奨学金(大学女性協会)	50,000	0	50,000
奨学金(Ms. Roi)	20,000	0	20,000
ドル換金差額	0	0	0
利息諸収入(利息)	1,000	0	1,000
" (ドル換金差額)	0	0	0
計	620,651	349	621,000

支出

項 目	2014予算額	2014現状	差異
基金拠出分(内訳下記参照)	550,000	0	550,000
奨学金(大学女性協会)	50,000	0	50,000
奨学金(Ms. Roi)	20,000	0	20,000
連合10周年記念調査報告費	0	0	0
予備費(ドル送金手数料)	0	0	0
計	620,000	0	620,000

収入 - 支出(翌年度への繰越金)	651	349	1,000
-------------------	-----	-----	-------

基金の状況

項 目	2014年度当初額	拠出金	2014年度末額
NVC奨学基金	2,685,659	480,000	2,205,659
稲宮奨学基金	160,000	70,000	90,000
計	2,845,659	550,000	2,295,659

平成26年度 活動予算書
2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター

科目	金額		
	2014年予算	2013年決算	増減
経常収益			
1 受取会費		別紙参照	別紙参照
正会員受取会費	1,076,000		
賛助会員受取会費	100,000		
小計	1,176,000		
2 受取寄附金			
一般寄付	300,000		
小学校建設指定寄付	1,000,000		
奨学金事業指定寄付(NVC基金)	620,000		
募金	30,000		
小計	1,950,000		
3 受取助成金等			
受取民間助成金	150,000		
小計	150,000		
4 事業収益			
バザー&フェスタ	800,000		
フェアトレードグッズ売り上げ	200,000		
イベント売り上げ	50,000		
知る講座参加費	25,000		
カレンダー売り上げ	170,000		
小計	1,245,000		
5 その他収益			
受取利息	800		
委託事業収入	0		
小計	800		
経常収益計	4,521,800		
経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
現地代表活動費補助	50,000		
法定福利費	0		
福利厚生費	0		
人件費計	50,000		
(2) その他経費			
仕入もしくは事業実施費	2,550,000		
講師謝礼	140,000		
印刷費	11,000		
広告宣伝費	57,000		
通信費	11,000		
会場費	20,000		
委託費	200,000		
消耗品費	6,000		
支払い保険料	7,000		
交際費	15,000		
旅費交通費	218,400		
送金手数料	5,600		
家賃	327,000		
光熱水費	177,000		
その他雑費	15,000		
その他経費計	3,760,000		
事業費計	3,810,000		
2 管理費			
(1) 他団体登録料	30,000		
講師謝礼	0		
印刷費	40,000		
広告宣伝費	50,000		
通信費	80,000		
会場費	0		
消耗品費	10,000		
支払い保険料	6,000		
交際費	0		
旅費交通費	200,000		
送金手数料	0		
家賃	117,000		
光熱水費	63,000		
その他雑費	10,000		
管理費計	606,000		
経常費用計	4,416,000		
当期経常増減額	105,800		
経常外収益			
固定資産売却益・経常外収益	0		
経常外費用			
税引前当期正味財産増減額	105,800		
法人税、住民税及び事業税	70,000		
当期正味財産増減額	35,800		
前期繰越正味財産額	5,732,899		
次期繰越正味財産額	5,768,699		

(単位：円)

第5号議案

役員の選任について

定款第12条により、役員を以下の通り改選する。

尚、任期は2014年5月29日より2年間とする。

(五十音順)

運営委員	稲垣伴憲、遠藤俊太郎(新任)、加藤健太、金子洋二、北村 泰、 櫛谷圭司、小出直未、小林伸子、武田彩美、佐々木寛、袖山由美子、 高橋正樹、高山美結、根立龍斗(新任)、羽田達矢、馬場拓也(新任)、 松栄容佳(新任)、三上杏里、皆川真理恵、山口明日香(新任)、 若月 章
監 事	阿部美恵子、原 敏明
アドバイザー	面川雅博、篠田 昭、西村智奈美、前野春樹、山際 敦、山田太郎